

# 《最近の県内経済》 (2023年2月を中心として)

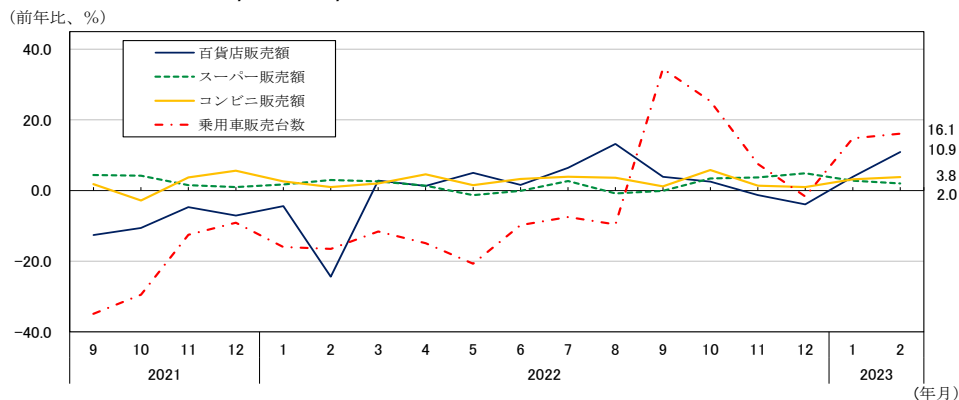
2023年4月28日

## 今月の概要

基調として緩やかに持ち直している。

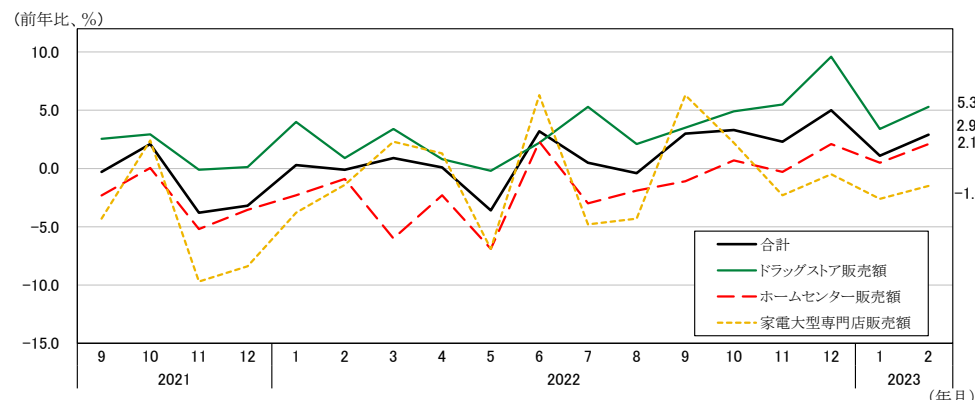
### 1 個人消費 ~基調として持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

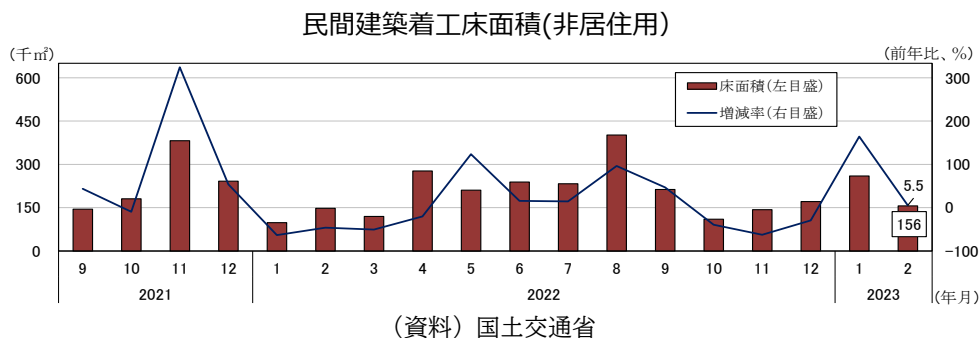
2月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が105億円で前年比10.9%増（2か月連続の増加）、スーパーは931億円で同2.0%増（5か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は495億円で同3.8%増と16か月連続の増加となった。外出の機会増加による衣料品・装飾雑貨、行楽需要やイベントの再開等によるお弁当や総菜類、ソフトドリンク等が好調だった。

また、乗用車販売は、前年比16.1%増と2か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車が同比1.3%減と4か月連続の減少となったものの、軽乗用車が同6.1%増の6か月連続の増加、普通車が同38.2%増と2か月連続の増加となった。

2月の専門量販店販売額は、687億円で前年比2.9%増と6か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が161億円で同1.5%減（4か月連続の減少）、ドラッグストアが370億円で同5.3%増（9か月連続の増加）、ホームセンターが156億円で同2.1%増（3か月連続の増加）となった。

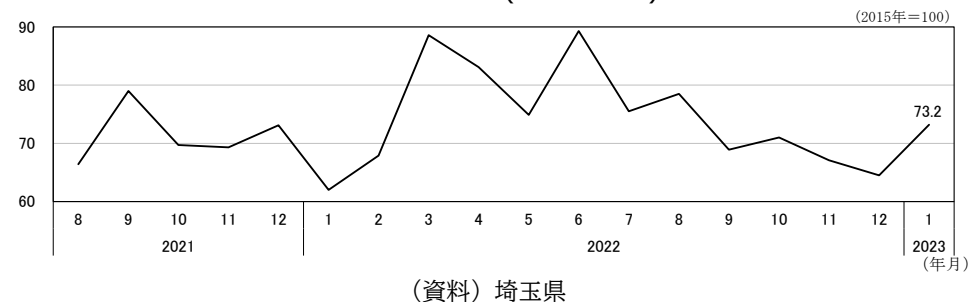
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、1月〈31.6〉、2月〈31.6〉、3月〈34.9〉で推移している。

## 2 設備投資 ~持ち直している



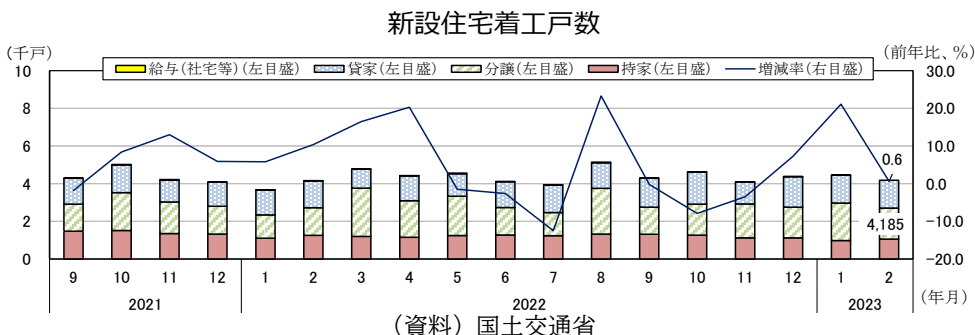
2月の民間建築着工床面積(非居住用)は、156千㎡で前年比5.5%増と2か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では前年比20.1%減)。用途別にみると、工場及び作業場、学校の校舎、病院・診療所は減少したものの、事務所、店舗、倉庫がいずれも増加した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)



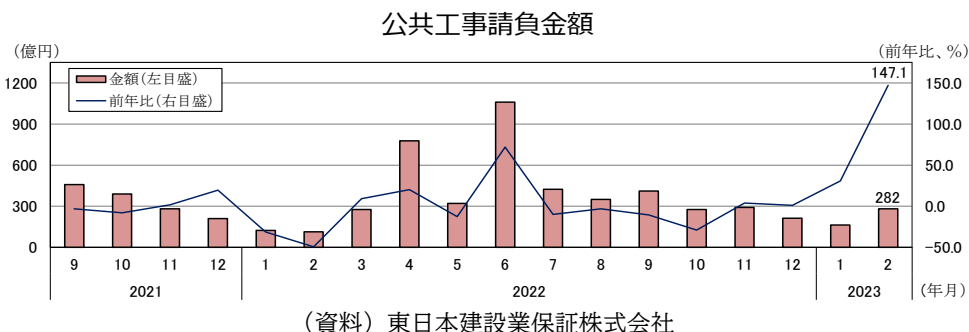
1月の資本財出荷指数(季節調整済)は73.2で、前月比13.5%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比1.1%減)。

## 3 住宅建設 ~横ばいとなっている



2月の新設住宅着工戸数は、4,185戸で前年比0.6%増と3か月連続の増加となった(5か月後方移動平均は2.6%増、3か月連続の増加)。利用関係別にみると、持家(1,059戸)が同15.3%減となったものの、貸家(1,483戸)が同3.6%増、分譲マンション(332戸)が同37.2%増、分譲一戸建(1,299戸)が6.0%増といずれも増加した。

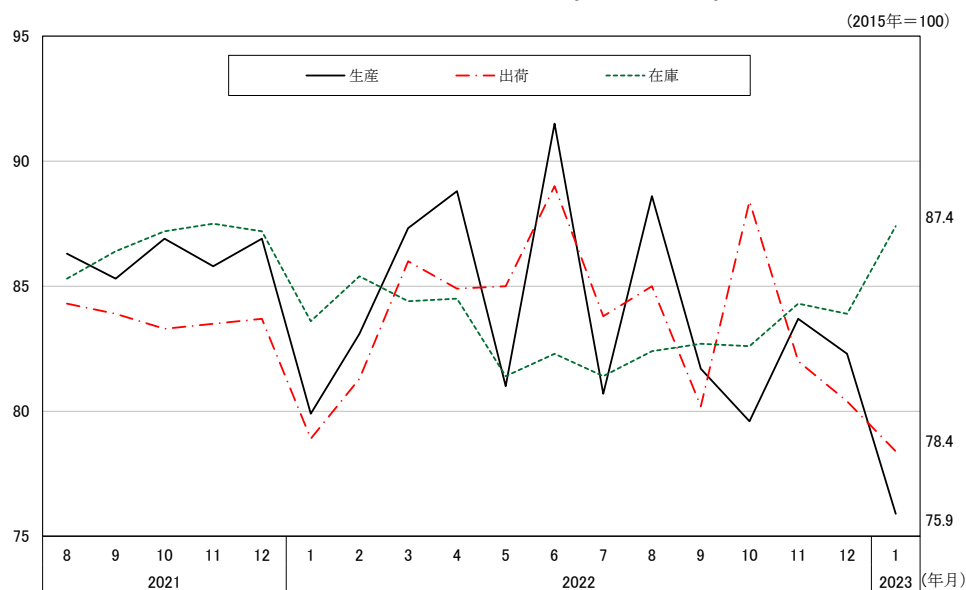
## 4 公共工事 ~横ばいとなっている



2月の公共工事請負額は282億円、前年比147.1%増となった(4か月連続の増加)。5か月後方移動平均でも前年比9.6%増で推移。発注者別でみると、都道府県は減少したものの、国、独立行政法人等、市区町村は、いずれも増加した。

## 5 生産活動～弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



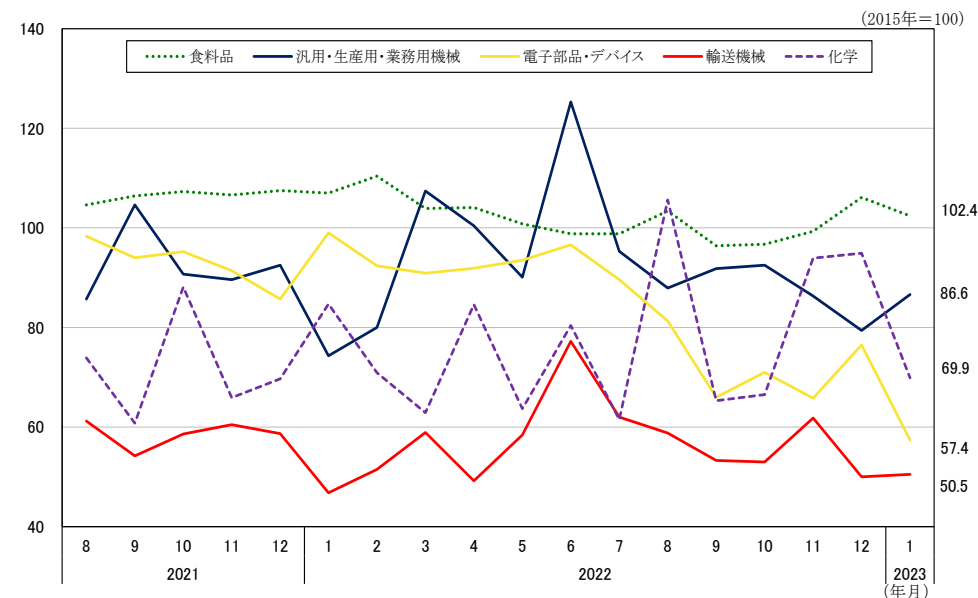
(資料) 埼玉県

1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、75.9で前月比7.8%低下した(2か月連続の低下)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)、業務用機械(試験機、分析機器)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、電子部品・デバイス(混成集積回路、プリント配線実装基板)などが低下した。

出荷指数(同)は、78.4で同2.5%低下(3か月連続の低下)。業務用機械(試験機、分析機器)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)などが上昇したが、非鉄金属(伸銅製品、アルミニウム圧延製品)、汎用機械(空気圧機器、軸受)などが低下した。

在庫指数(同)は、87.4で同4.2%上昇した(2か月ぶりの上昇)。情報通信機械(ガス警報器、電話機)、金属製品(スチール製缶、ばね)などが低下したが、生産用機械(整地機械、マシニングセンタ)、電気機械(クッキングヒーター、食器洗い乾燥機)などが低下した。

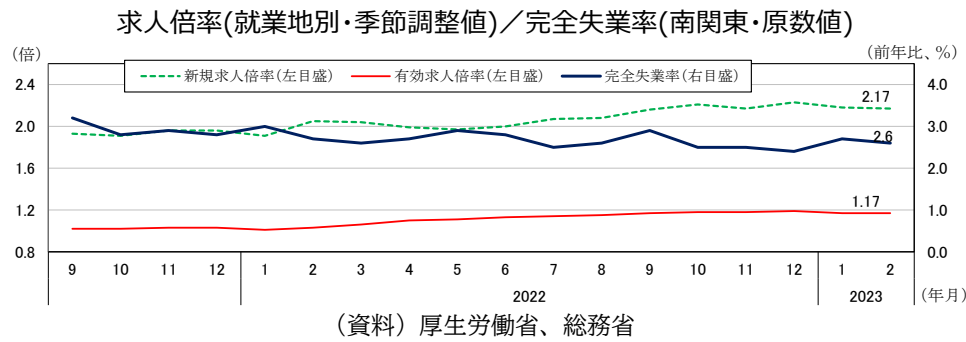
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

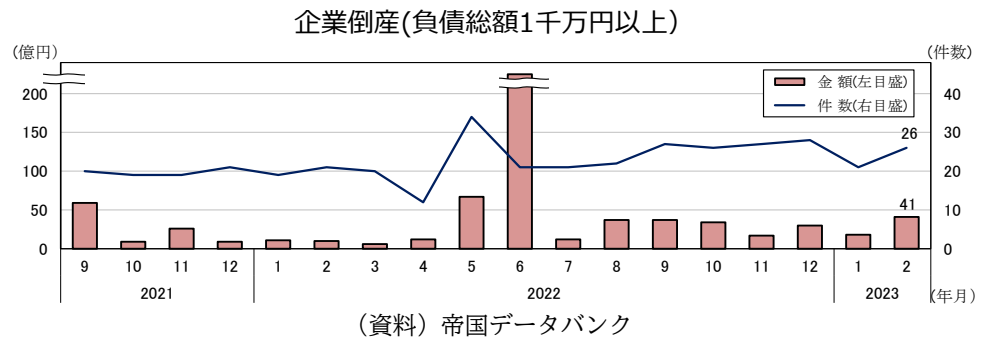
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、102.4で前月比3.5%低下、4か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、86.6で同9.0%上昇、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、57.4で同25.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、50.5で同1.0%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、69.9で同26.3%低下し、4か月ぶりの低下となった。

## 6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している



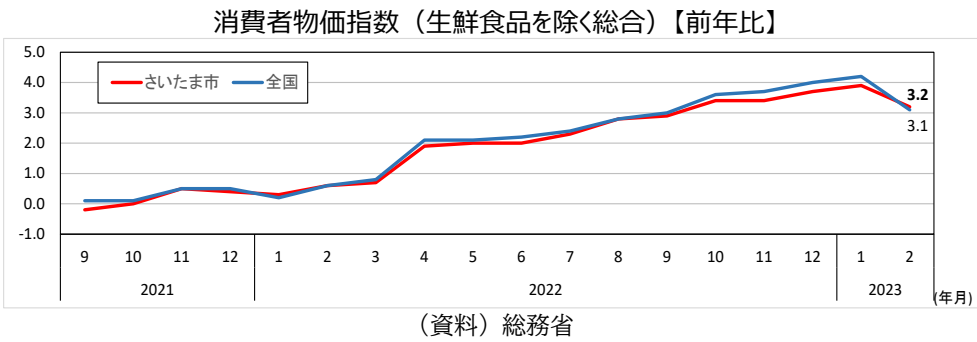
2月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.17倍で前月比横ばいとなった。また、新規求人倍率(同)は、2.17倍で前月比0.01ポイント低下した(2か月ぶ連続の低下)。  
完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.1ポイント低下した(前年同月比12か月連続の低下)。

## 7 企業倒産 ～増加傾向にある



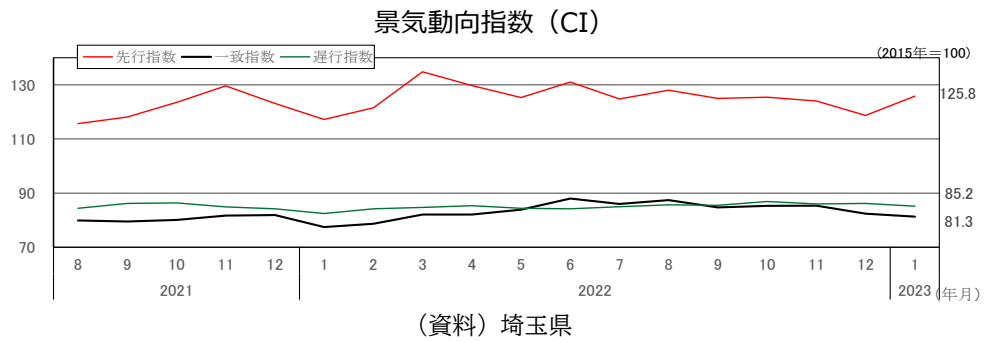
2月の企業倒産件数は、26件で前年同月比5件の増加となった。負債総額は41億円で同31億円の増加となった。  
業種別にみると、建設業が最多で8件、次いで小売業、サービス業がそれぞれ5件と続いている。主因別では、販売不振が23件となっている。

## 8 消費者物価 ～上昇率がやや鈍化している



2月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比3.2%上昇した。食料品や家事用消耗品の上昇が全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ～下方への局面変化を示している



- 1月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、81.3で前月比1.1ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、125.8で同7.1ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、85.2で同1.0ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。